

概要版

みんなで創ろう 山のぽっけへぐりの未来！

～平群町第5次総合計画～



平群ブランドロゴマーク ※商標登録出願中

平 群 町

平群町第5次総合計画策定にあたって

わたしたちのまち平群町は、悠久の歴史と緑の山々に包まれた豊かな自然環境の中にあり、新興住宅と農村風景が程よく調和した緑豊かで心豊かな田園住宅都市であり、基幹産業である農業とともに大阪のベットタウンとして発展してまいりました。

さて、この間社会情勢は大きく変動し、これからの町づくりは国や県が決めた画一的なものではなく、地域住民が自らの意志と責任で創っていくことが強く求められています。平群町に暮らす皆さまが本当に望む「まち」を創っていくためには、住民の皆さまとともに、協働のまちづくりを進めていくことが急務であると考えています。

このたび、第5次総合計画の策定に当たり、広く住民の皆さまからの意見を反映するため、公募により選ばれた住民の方々に審議会へご参加いただくとともに、住民の皆さまへのアンケート調査や住民有志と若手職員と一緒に平群町の未来を考える「まちづくり会議」を開催しました。

また、策定したまちづくりの施策ごとに、より実効性を高めるために目標指標と行政・住民の行動指針を設定しました。これは行政と住民がともに責任をもって取り組む姿勢を明確にしたものです。

このように、多くの住民の皆さまのご協力を得て、今後10年間のまちづくりの指針として平群町第5次総合計画『(計画愛称) みんなで創ろう 山のぼっけへぐりの未来!』を策定しました。

本計画では目指すべき平群町の将来像を、高齢者から子どもまでが安心して暮らせる『緑豊かで心豊かな 子どもの歓声がきこえるまち』とし、これを実現するためのまちづくりの戦略を設定しました。

今後この計画の推進に当たり、まちづくりの主役となる住民の皆さまとともに将来像の実現に向けて、全力で取り組むこととお約束します。

結びに、策定に当たりましてご協力をいただきました全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

平成25年4月 平群町長 岩崎万勉



総合計画とは

総合計画の趣旨と目的

「総合計画」とは、市町村が個性と魅力ある地域づくりを進めるために、長期的な将来目標を定め、さらにその実現に向けて着実にステップを踏んだ行くための総合的かつ計画的な町の方針を定めるものです。

総合計画の性格、役割等

行政においては

総合的な平群町の経営指針

新たな時代、様々な課題に対応し、戦略的な“まち”を経営していくための経営指針となるものであり、町民のみなさまと協働のまちづくりを進めていくための指針となるものでもあります。

町民にとっては

まちづくりの共通目標

これからの平群町のまちづくりの方向性やそのために必要な取り組みを共有し、それぞれの個性とパワーを一層発揮しながら、まちづくりに主体的に参画、協働するための共通目標となるものです。

総合計画の構成

平群町第5次総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。「基本構想」は、本町のまちづくりの最高理念であり、将来の平群町のあるべき姿を提示し、その実現のために進むべき基本的方向を示すものです。

「基本計画」は、基本構想に基づき、分野毎のまちづくりの基本方針を明確にし、目標達成のための主要な施策・プロジェクトを総合的・体系的に示すものです。

「実施計画」は3年の展望をみて、毎年度の予算編成の指針となるものです。

目標年度

平成25(2013)年度を初年度とし、平成34(2022)年度を目標年次とします。

なお、社会経済情勢の変化に対応するため、前期基本計画は平成25(2013)年度から平成29(2017)年度まで、後期基本計画は平成30(2018)年度から平成34(2022)年度とします。



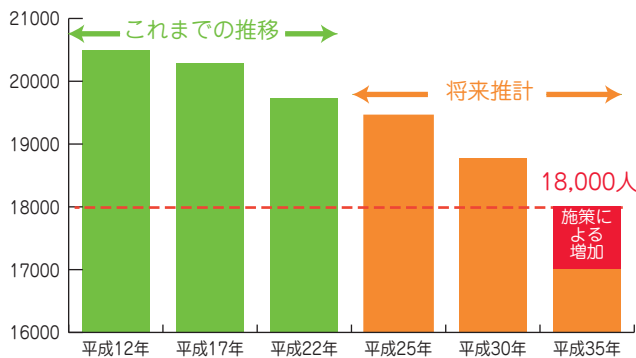
平群町の将来像

～高齢者から子供までが安心して暮らせる～

緑豊かで心豊かな 子どもの歓声がきこえるまち

平群町の将来像として描くもの、それは「緑豊かな自然の中で、老いも若きも明るく心豊かで、そして子ども達ものびのび元気に歓声をあげるまち平群」です。住んでよかったと心から思える平群、それはほかならぬ平群に住んで平群を愛する住民と行政が手を携えて、力をあわせて創っていくものです。

平群町の将来推計人口



平群町では、平成12年をピークに人口が減り続けており、平成35年には、約17,000人と、平成22年から約2,000人が減少する推計結果となっています。

また、高齢化率は、平成22年の28.5%から、平成35年には39.8%と、全町民の4割近くが高齢者になるという推計結果となっており、同じ年度の全国・他市町村の推計値に比べても非常に高い割合です。平群町は、住宅都市であることから、人口減・高齢化がこの傾向のまま続けば、今後税収は確実に減り、医療費などの社会保障費の増加が確実に見込まれます。

平群町第5次総合計画では、このような状況に対応し、平群ならではの住環境づくりや子育て支援、教育環境の充実等、定住化促進を図り、他町村にはない平群ならではの魅力的な住まい方・暮らし方を発信する等、住む場所として選ばれる施策を展開し、急激な人口減少に歯止めをかけていきます。

そのため、第5次総合計画の目標年度である平成34年度の平群町の将来推計人口を、現在の傾向が続いた場合の、約17,000人から1,000人多い、約18,000人とします。

まちづくりの戦略

将来像を実現するために、平群町第5次総合計画では、4つの基本理念に基づく9つの「基本戦略」を位置づけ、29の「重点施策」を推進します。また、「基本戦略」による施策のうち、人口流出や減少に歯止めをかけるものを「人口対策」の柱として以下のように位置づけ、行政組織を横断する実施体制を構築し、総合的に実施します。

基本戦略

理念1	平群谷の豊かな緑に包まれて暮らすまち平群	自然保全	平群谷の自然を守り伝える環境づくり
		環境循環	自然によりそう暮らしとまちづくり
理念2	地域資源が産業の活性と未来の希望をつなぐまち平群	観光	誇りと魅力の源泉となる新しい観光づくり
		産業	地域資源を活かした持続可能な産業づくり
		発信	地域の魅力を共有し、効果的に発信するツールづくり
理念3	子どもの歓声がきこえ、住み続けたいと実感できるまち平群	住みよさ	平群の安全安心で高齢者もいきいきと暮らせる便利な暮らしの豊かさづくり
		子育てと教育	“人間力”を育む環境づくり
理念4	人と人がつながる心豊かなまち平群	交流と交流	多彩な交流の場があり、支え合う地域づくり
		住民参画	人と人、人と資源が出会いつながる、住民主体のまちづくり

人口対策

- 1 住まいの場の確保
(住宅の流通、定住化の促進)
- 2 安心の子育て、確かな教育
(子育て支援策、教育環境の充実)
- 3 安全・安心の暮らし
(安全・安心で利便性の高い住環境の整備)
- 4 活気のある働く場所
(雇用、労働、産業の場の創出)
- 5 “へぐり”ならではの豊かな暮らし
(平群の特性を活かした魅力的な暮らしの創造、発信)

理念 1

平群谷の豊かな緑に包まれて 暮らすまち平群

里山の自然を、将来に渡り守っていくために、まちの中で活躍する住民の力をつなぎ、里山の維持管理や自然環境の保全の仕組みづくりを推進します。

●「自然保全」の戦略

平群谷の自然を守り伝える環境づくり

1 自然に包まれたまちづくりの推進

- ・継続して金剛生駒紀泉国定公園等の自然環境の保全を図ります。
- ・住民や住民活動団体等への里山整備活動に対する支援策の検討等、積極的に里山の維持管理活動の推進を図ります。

……… 施策の展開イメージ ……

(例) へぐり花里プロジェクト



- ・里山再生活動の展開
- ・花いっぱい活動の展開

2 竜田川の魅力づくりの推進

- ・竜田川における水質汚濁防止対策を推進します。
- ・河川沿いの歩行空間の魅力づくりに取り組みます。
- ・花木植栽や、緑地の維持管理活動等、行政と住民の協働による体制づくりを強化します。
- ・住民等による河川沿いの空間を利用したイベント等の実施を積極的に支援します。

(例) 竜田川まほろば遊歩道整備構想プロジェクト



遊歩道の整備や
清掃保全活動等

●「環境循環」の戦略

自然によりそう暮らしとまちづくり

3 ごみ減量対策

- ・3R(リデュース(発生抑制)・リユース(繰り返し使う)・リサイクル(再資源化))の取り組みの推進に向け普及・啓発を行います。
- ・ごみ減量とリサイクルを推進します。
- ・地域ぐるみの環境美化への取り組みを推進します。
- ・ごみの適正な収集環境を整備します。
- ・ごみの減量化を促進する施策を実施します。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 平群町エコタウン構想



- ・生ゴミ50%オフ運動の展開
- ・生ゴミリサイクル事業の実施
- ・もったいない運動の展開

4 資源循環型の地域社会づくりの推進

- ・温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みの普及・啓発と実践を推進します。
- ・リサイクル製品等の利用の拡大や、資源の再利用に向けた、地域ぐるみの活動を積極的に推進します。

5 再生可能エネルギー導入の推進

- ・公共施設への、再生可能エネルギーの導入に率先して努めます。
- ・住宅用太陽光発電等、再生可能エネルギー導入支援を推進します。
- ・一般家庭や事業所等への再生可能エネルギー導入に向けた、普及・啓発を推進します。

理念 2

地域資源が産業の活性と 未来の希望をつなぐまち平群

基幹産業である農業の6次産業化や、各産業分野間での連携や、産学官民間の連携を促進し、新たな事業が生まれやすい素地をつくり、地域でお金が循環する仕組みを整えます。

●「観光」の戦略 誇りと魅力の源泉となる新しい観光づくり

6 平群の自然資源を五感で楽しむ景観ポイントの創造

- ・観光集客拠点などを活用した新たな景観ポイントを創造します。

7 椿井城・信貴山城跡をはじめとした歴史的観光拠点づくりの推進

- ・椿井城・信貴山城跡等の歴史・文化的価値を核とした地域活性を図ります。
- ・歴史ファンを意識したホスピタリティ（おもてなし）の充実を図ります。

8 平群の農産物を活かした観光資源の創出

- ・農産物を「販売」するだけでなく「体験性」を導入した各種サービス等の開発を推進し、地域の農産物のファンづくりを進めます。

…施策の展開イメージ…

(例) 山のぼっけ平群
パノラマロードプロジェクト



平群町おもてなし
プロジェクト 他

●「産業」の戦略 地域資源を活かした持続可能な産業づくり

9 農産物のブランド化の推進

- ・平群の農産物のブランド基準を設定し、「平群の農産物」の価値を高めます。

10 6次産業化の推進

- ・農業及び地域産業の抜本的な経営力強化を目指し、町全体に6次産業化の流れを作り出します。

11 企業誘致の推進と既存企業との活性化への推進

- ・町内の企業と連携可能な企業の誘致に積極的に取り組み、町全体の産業の活性化を図ります。
- ・平群ブランド、6次産業化
- ・起業ファンドによる事業起こし
- ・平群あぐりファーム事業

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 平群元気いきいき産業プラン



●「発信」の戦略 地域の魅力を共有し、効果的に発信するツールづくり

12 文化財の調査・記録・保護・伝承意識の確立

- ・文化財や歴史的遺産について、住民や民間組織と行政等が連携して維持・管理する体制の構築を推進します。

13 歴史的遺産や文化財の魅力の共有と発信

- ・観光ボランティアガイドをはじめ、住民による文化財や歴史的遺産を活用した取り組みを積極的に推進します

14 平群の魅力と誇りを表現する平群ブランドコピー及びロゴマークの共有と発信

- ・平群町の地域活性化に資する全ての事業の方向性を指し示す根本的なコンセプトとして、平群ブランドの共有・発信を図ります。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 平群歴史ロマンプロジェクト



理念 3

子どもの歓声がきこえ、 住み続けたいと実感できるまち平群

子育て支援や教育環境の充実、公共交通の利便性の向上等に取り組み、現在町外へと流出傾向にある若年世代に、住む場所として選ばれ、住み続けられるまちづくりを進めます。

●「住みよさ」の戦略

平群の安全安心で高齢者もいきいきと暮らせる 便利な暮らしの豊かさづくり

15 住環境の向上と併せた空き家の活用・流通推進

- ・若い世帯の定住化を促進するため、平群町に合った空き家対策を検討・実施します。
- ・定住を目的とした住宅の新築やリフォーム、耐震化に関する支援に努めます。

16 災害に強いまちづくりと地域の防災体制づくりの推進

- ・地域の実態に即した災害時の対策などの防災対策を総合的に推進します。
- ・自主防災組織づくりの強化や自主防災組織の活動を支援します。

17 健康づくりと地域の医療・介護体制の充実

- ・高齢者の健康づくりの促進に向け、地域における運動習慣づくり等の取り組みを積極的に支援し、住民の参加を促します。
- ・緊急医療体制や夜間診療体制の充実について、町内外の医療機関等との連携を含めた検討を行います。

18 公共輸送機関の確保と充実

- ・コミュニティバスの利便性向上等、公共輸送機関の確保と充実を図ります。

19 道路・下水道・駅周辺の都市基盤整備の推進

- ・住民の生活利便性の向上や、町外との交流促進、鉄道駅と生活拠点や観光拠点を機能的にアクセスする路線の整備促進を図ります。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 空き家利活用・定住化促進人口対策プロジェクト



- ・住宅借上制度の検討
- ・空き家情報・定住環境情報の発信

(例) 平群町防災対策アクションプラン



自主防災組織の
拡充推進等

(例) 平群楽々交通プラン



コミュニティ
バスの適正な
ルートと運行
時間の精査

●「子育てと教育」の戦略

“人間力”を育む環境づくり

20 地域が支える安心の子育て環境づくり

- ・子どもの見守りを地域で安全に行えるシステムづくりを進めます。
- ・地域の育児力を高めるため、地域で子育て支援に取り組む団体や人材の育成・支援を推進します。

21 時代のニーズに合わせた子育て支援策の充実

- ・より質の高い就学前保育と教育を一体的に行える体制づくりに取り組みます。
- ・子どもを安心して産み育てることができるよう総合的な支援を行います。

22 小さな町で大きな教育の推進

- ・確かな学力の確立と豊かな心、健やかな身体の育成を推進し、個性を尊重しつつ能力を伸ばします。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 平群のびのび子育てプラン

- ・安心の子育て
まちプラン
- ・幼保一体化推進事業
- ・イクメン育成
プロジェクト



(例) 地域で取り組む学校大好きプロジェクト



コミュニティ
スクール事業等

人と人がつながる 心豊かなまち平群

今後増加が見込まれる高齢者の社会参画の場づくりに取り組むとともに、地域で暮らしを支え合える体制づくりやいつまでも心豊かに過ごせる地域社会づくりを進めます。

●「コミュニティと交流」の戦略

多彩な交流の場があり、
支え合う地域づくり

23 地域コミュニティ活動の推進

- ・地域コミュニティが地域の課題を解決する取り組みを支援します。
- ・住民の自治会活動や地域での社会貢献活動等に対する意識の向上や、活動へと参加するきっかけづくりに努めます。
- ・コミュニティ施設の拠点機能充実や施設の耐震化を推進します。

24 地域で支え合う福祉の推進

- ・住民の地域福祉活動への意識を高める啓発活動を展開する他、ボランティア活動等を支援します。
- ・地域の団体や学校等の社会資源の活用を図り、地域での支え合いの仕組みの構築を推進します。
- ・地域の福祉向上の指針となる地域福祉計画の策定を進めます。

25 情報交換・交流の場づくりの推進

- ・住民が気軽に地域の活動やまちづくりに参加しやすくするため、情報交換や交流の場づくりを推進します。
- ・インターネットを活用し、地域活動や町内情報を発信します。

26 地域と連携した若者の活躍の場づくり

- ・青少年等、若者層が参加しやすい文化・スポーツ活動や、若者層が主体的に活動できる機会や、老若男女が合同で活動できる機会の場の充実を積極的に推進します。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) 出会い・つながり・絆
プロジェクト



- ・自治活動の情報発信
- ・活動交流会議等

●「住民参画」の戦略

人と人、人と資源が会いつながら、
住民主体のまちづくり

27 住民参加の仕組みづくり

- ・自治会活動や住民発意の活動等、意欲を持った住民がまちづくりに参加するための仕組みづくりや、住民の行動に対して行政が協働していくための新たな制度や仕組みを検討します。

28 まちづくりを支える担い手づくりの推進

- ・主体的にまちづくりに取り組む住民やまちづくりに関心を持つ住民の増加を図るため、住民同士の出会いと交流を促進する住民活動団体等を支援し、担い手づくりを推進します。

29 高齢者の社会参画の推進と生きがいづくり

- ・定年退職後の高齢者等、まちづくりに対して意欲を持つ人材の社会参画を積極的に支援する体制を、地域と行政協働により構築します。

…… 施策の展開イメージ ……

(例) みんなでつくろうわがまち平群



- 自治会、ボランティア団体、NPOなどの住民によるまちづくり活動への支援等

総合計画

Q & A



平群町イメージキャラクター
左近くん



平群町イメージキャラクター
長屋くん

Q. この計画は、誰がつくったの？

A. 住民の皆さまをはじめとする多くの方々に参加していただき、策定しました。

策定にあたり町民の皆さまからの意見を反映するため、公募により選ばれた住民の方々に総合計画審議会へご参加いただくとともに、住民の皆さまへのアンケート調査や住民有志と若手職員が一緒になって平群町の未来を考える「まちづくり会議」を開催し、計画を策定しました。

Q. この計画をどうやって実現するの？

A. ボランティアやNPO、自治会などの団体や、事業者、住民の皆さまと行政が一緒になって進めていきます。また、この計画の実施については、町民の皆さまの主体的参加が重要であり、その推進体制として行政と住民の協議の場を設定します。

平群町の目指す将来像を実現するため、「まちづくりの戦略」として各種施策を推進します。また、急激な少子高齢化の進行や若い世代の流出などによる人口の減少に歯止めをかけるため、人口対策を喫緊の課題として捉えます。そして、それぞれの施策ごとに、より実効性を高めるために目標指標と行政・住民の行動指針を設定し、ともに責任をもって取り組む姿勢を明確にします。なお、計画の進捗管理をする意味から、行政・住民からなる検証組織を設置し、計画の検証を行います。

Q. もっと詳しく知りたいときは？

A. 平群町第5次総合計画は、役場（情報公開コーナー）、あすのす平群で閲覧できます。また、町のホームページにも全文を掲載しています。

平群ブランドロゴマーク



※商標登録出願中

“平群ブランドへの想い”

平群町の自然・歴史・農産物・暮らしなどの平群が持つすべての魅力において地域らしい強みを育み発信しつづけることで、すべての人にとって“平群”を魅力的なまちにすることを目指すものとして、平群ブランドを制定しました。

「平群に遊びに行ってみよう」「平群のものだから買ってみたい」として、「平群にいつか住んでみたい」。そんな気持ちを育んでいきたい。

平群町第5次総合計画（概要版）

発行日 平成25年4月 編集・発行 平群町役場政策推進課

〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新 1-1-1

Tel 0745-45-1001（代表）

URL : <http://www.town.heguri.nara.jp>

この冊子についてのお問い合わせ